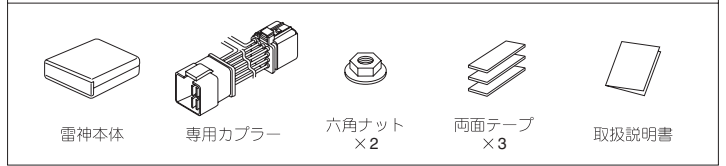


この度はPIVOT製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。  
 ●お取り付けの際、一部に専門的な知識が必要な場合は専門店での作業をお勧めします。  
 ●説明書の再発行は有償となりますので、大切に保管して下さい。

セット内容



対応車表

インプレッサ	H14.11~	GDA/GDB/GGA	EJ20ターボ
	H12.10~	GDB/GGB	
	H12.8~	GDA/GGA	
	H10.9~	GC8/GF8 (F型)	

フォレストナー	H14.2~	SG5	EJ20ターボ
	H12.1~	SF5 (C,D型)	

レガシィ	H10.12~	BE5	EJ20ターボ
	H10.6~	BH5	

**警告**

1. 製品取付は説明書の手順に従って、安全、確実に作業してください。
2. 配線作業は必ずバッテリー⊖端子を外した上で行ってください。
3. 配線を間違えますとショート等によって製品やクルマ側が故障する場合がありますのでご注意ください。

**注意**

1. 配線上効果が得られない、接続が行えない、配線未確認などの一部車種は対応不可となります。
2. 本機以外の製品を同様に接続、または対応不可のクルマに接続されますとクルマ側の部品を破損させる場合がありますので行わないで下さい。

効果

効果、車種別イグニッションコイル専用だから最大の性能アップ。

- エンジントルク、レスポンス、パワーアップ ●アイドリング安定 ●エンジン音静寂

特長

電源根本を安定化+電源配線損失防止+アース強化!

これが、完璧な理想点火による性能アップ  
 イグニッションコイルへの電源経路は、コード、ヒューズ、端子など数多くの抵抗とインダクタンス成分により、電圧低下やパルスノイズで点火損失が生じ、性能を完全に出し切れていませんでした。そこで雷神スパークタイプVは、イグニッションコイル電源の至近距離を安定させることで点火性能を100%発揮させるという新しい発想で、電源を直接バッテリーから最短距離で配線し、更にアースも強化することで完全に配線損失を防ぎ、点火性能を完璧に引き出すイグニッションコイル専用の電圧安定と配線損失を防ぐことを両立した画期的な装置です。

カプラーオンの簡単配線

配線はエンジンルームの指定カプラーに差し込み、あとはバッテリー各端子に接続するだけの簡単取付です。

高周波応答性とデュアルパワーリレーの採用

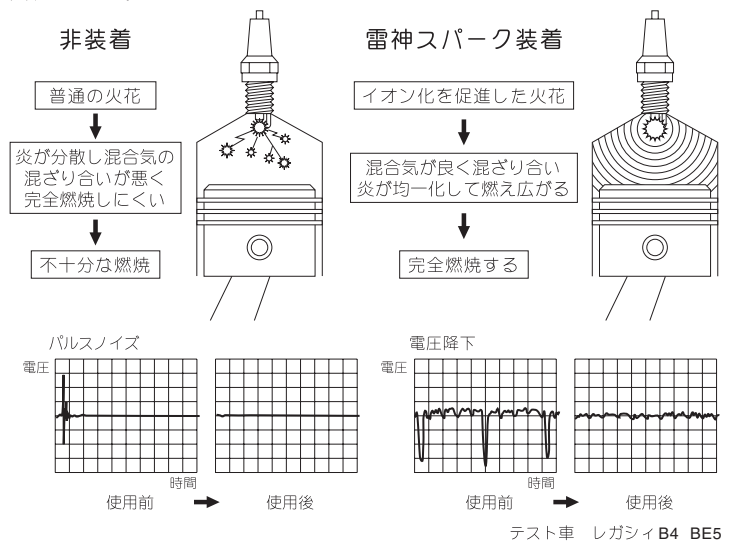
高周波応答性に優れた回路とデュアルパワーリレーの採用で、最大限の高性能を発揮します。

ワンタッチ交換型ヒューズ

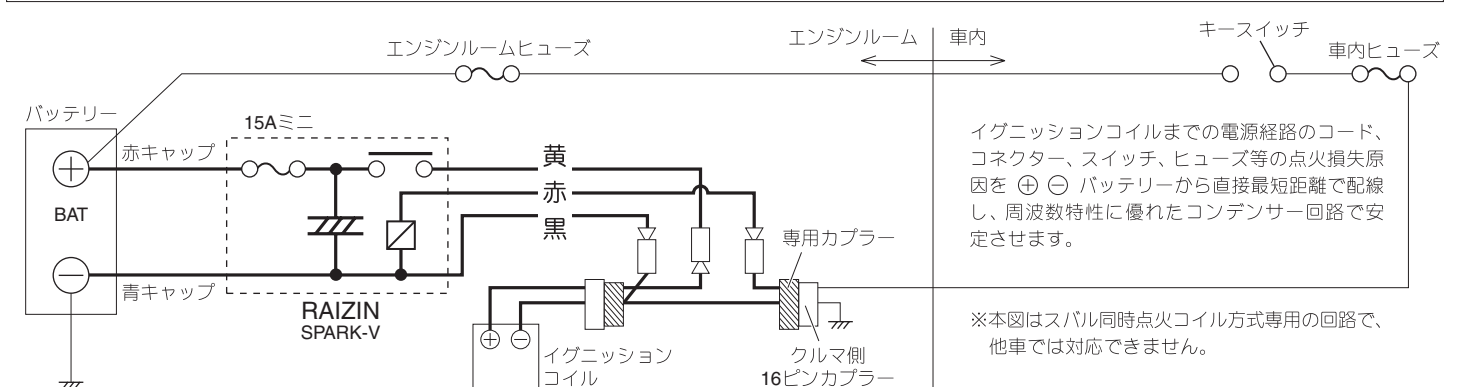
本体には万一のヒューズ切れの時でもワンタッチで交換できる着脱式ヒューズを採用。

励起イオン化による理想燃焼。

理想的な点火とは、強い火花と混合気の中を火花が線香花火のように分散せず均一に燃え広がっていくための励起イオン化を促進する必要があります。そのためには火花波形の立ち上がり速度を速くさせるため雷神スパークは高周波応答性に優れた回路で電流遮断時のパルスノイズと電圧低下を抑えることでより理想的な点火からの燃焼を実現しました。



基本配線と原理

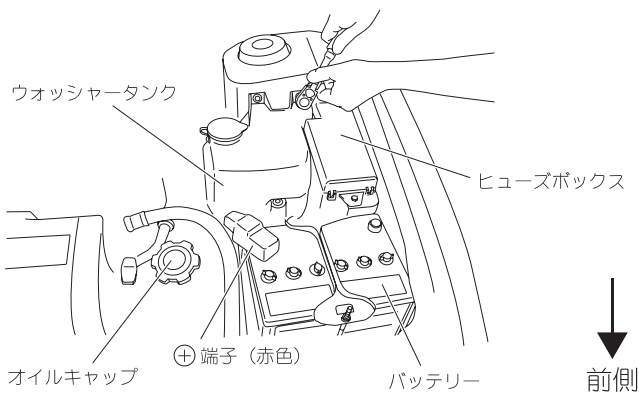


## 取付方法 車種により図と多少異なる場合があります。

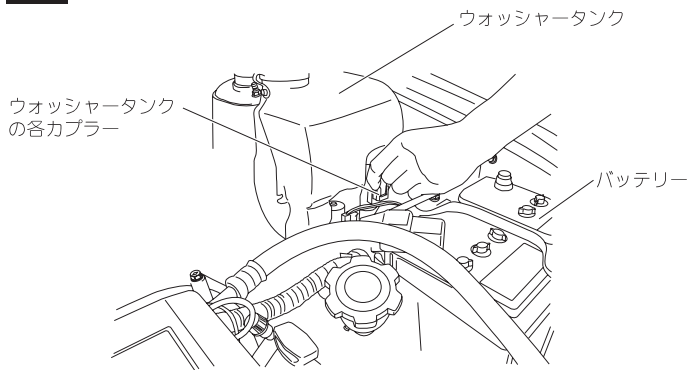
**警告** 配線作業時は必ずバッテリーの端子を外して行ってください。

**注意** 配線後はショート防止のため、余ったコードやギボシカブラーは絶縁テープなどを巻き、絶縁してください。

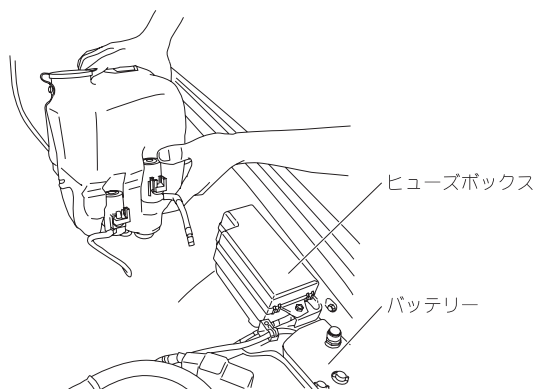
### 1 バッテリー後ろの純正ウォッシャータンクのネジを外す。



### 2 各カブラーを外す。

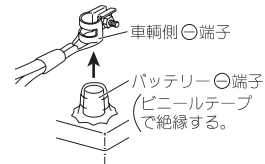


### 3 ウォッシャータンクを持ち上げ横に置く。

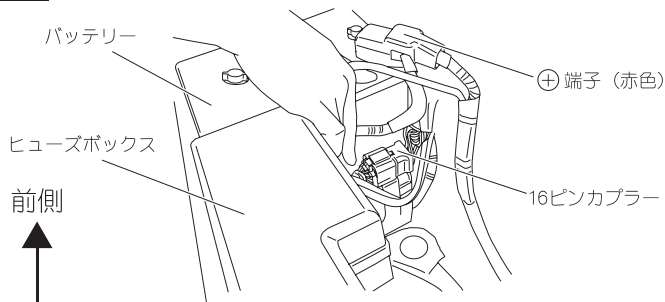


### 1. 取付準備

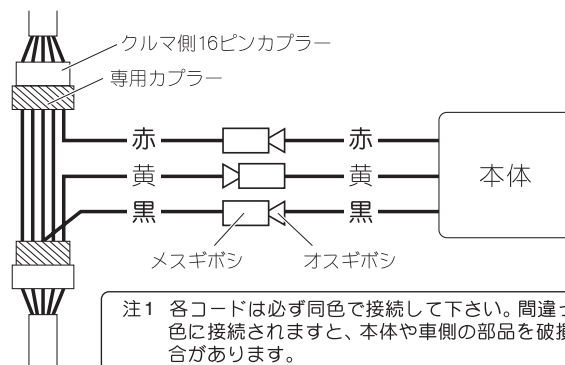
- ① バッテリーの端子から車側端子を外す。
- ② バッテリーの端子をビニールテープで絶縁する。



### 4 バッテリーの後ろの16ピンカブラーを抜く。



### 5 抜いた16ピンカブラーに専用カブラーを差し込み、そこから出ているコードと本体からの各コードの色を合わせ接続する。

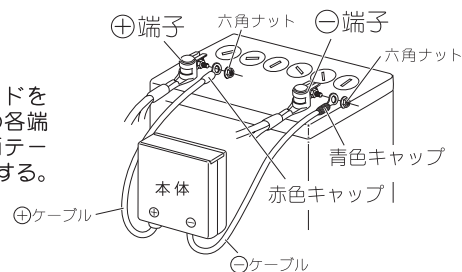


注1 各コードは必ず同色で接続して下さい。間違っても違う色に接続されますと、本体や車側の部品を破損する場合があります。

注2 接続は根本まで確実に差し込み、抜け防止のためそこを絶縁テープなどで巻いてください。

### 6

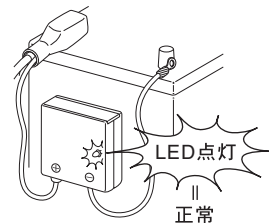
本体からの2本の青コードをバッテリーの $\oplus$   $\ominus$ の各端子に接続し、本体を両面テープでバッテリー等へ固定する。



### 7 逆の順番で各部品を元に戻します。

### 動作確認

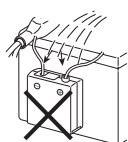
キースイッチ ON で本体のLED が点灯すれば正常です。



## 本体取付

※水のかからない場所へ取り付ける。

本体内の回路には防水処理コートをしてありますが、完全防水ではありませんので、水のかからない場所へ取り付け、水かけ等はしないようにして下さい。



●ケーブル出口を上にして取り付けると、そこから水が入る恐れがありますので、必ず出口を下にして下さい。



●水をかけないで下さい。かかってしまう恐れがある時には防水シート等で覆って下さい。

### 注意

1. 横面等へ貼り付ける場合には、両面テープの粘着が安定するまで約2時間は振動等を加えないで下さい。
2. 貼り直しは粘着力が低下するので行わないで下さい。

- ① 本体ウラ面の汚れや油分を取って付属の両面テープを貼付する。
- ② 本体を取り付ける場所の汚れや油分をしっかりと取り取ってから本体を貼り付ける。

